



ひおき市議会だより

No. 53

2018年8月

ざかいのとびら



わあ〜い!水がかかっちゃった〜!
〜つつじが丘保育園プール開き〜

6月定例会 主な内容

平成30年8月 第53号

- 平成 30 年度補正予算（人工芝サッカー場整備費、農林水産業費等の増額）…………… P 2
- 13 人の議員が明日の市政を論戦！（議員の一般質問）…………… P 4
- 議員定数 20 人案を議員発議で提出！（議員発議、条例改正）…………… P13
- 請願・陳情のゆくえ（請願・陳情等の審査状況、意見書の提出）…………… P14
- 先進地に学ぶ・市民の声を市政へ（委員会の調査報告）…………… P15
- あん質問は、どげんなった？（一般質問の追跡調査）…………… P16

コミュニティバス巡回場 整備費 320万円



路線延長による新規バス停設置に伴う整備
(ふれあい飯牟礼館前・セイカ食品前)

農業次世代 人材投資費 3825万円



新規・継続の就業支援で21人と3組へ支給



吹上浜公園サッカー場建設がスタート! ~28億2467万円を追加、総額278億8567万円~

6月議会定例会:6月11日から7月2日(22日間)

江口漁港整備費 2040万円



海砂のしゅんせつ・揚げ場・防波堤・用地
護岸等の整備

吹上浜公園 人工芝サッカー場整備費 2億8176万円



基礎・造成・トイレ・駐車場整備
(普通車約300台・バス約10台)

有害鳥獣電気柵費 1697万円



東市来田代集落への鹿・猪兼用電気柵設置費
延べ13万6925m分

吹上の正円池 栈橋整備費 1500万円



プラスチックと木質による材料を使用した
新しい橋の設置

ゆすいん 非常用発電機費 243万円

非常用発電機部品の入れ替え工事

学校・庁舎 ネットワーク変換機費 959万円

光信号を電気信号に変換するために

地区公民館 花火打ち上げ費 520万円



26地区公民館の花火大会へ

吹上浜松くい虫 駆除費 690万円



吹上浜の市有林等の松くい虫駆除に

賛成 吹上浜公園サッカ
ー場整備については、
地元から事業見直しの陳
情書と、建設推進の陳情
書が出され、昨年3月議
会で賛否の議論がすでに
なされ、可決された経緯
がある。
それにより当局から予
算計上されており、今後
も事業は継続される。
日置市の活性化が図ら
れる事と理解し賛成であ
る。

反対 人工芝サッカー場
の工事費の2億8176
万円は、問題である。
借金をしてまで、サッ
カー場の建設が必要な
か疑問である。
維持管理費の事など、
心配する市民の声もある。
税金の使い道は、暮ら
しや福祉、教育などを優
先すべきであり、認める
ことはできないので反対。

◆ 一般会計 討論

◆ 平成30年度 一般会計・特別会計 賛否表

(予算額は1万円未満切り捨て)

会計名	賛否表 (並松議員は議長のため、表決には参加しない)														結果								
	桃北	佐多	是枝	富迫	重留	福元	山口政	山口樹	中村	留盛	橋口	黒田	下御領	山口初		西園	門松	坂口	大園	漆島	田畑	池満	並松
一般会計補正(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別会計 公共下水道事業(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特別会計 介護保険(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

一般質問

明日を論戦

「より良い市政を目指し、13人が登壇」

- ・ 一般質問は、議員が市政運営全般について、現状や方針などを問いつながりながら政策提案を行い、見解を求めるものです。
- ・ 質問者の原稿内容をそのまま掲載しています。



山口 初美 議員

質問 1 川内原発3号機の増設について見解を

【答弁】 市民の安全を第一に考え増設は考えられない

山口 川内原発敷地内で進む旧保安林の伐採地には、

3号機の計画地も含まれており、増設に向けた準備ではないかと不安に思う市民もあるようだが、改めて市長の見解を伺う。

市長 原子力発電所は、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入で減らすべき。市民の安全を第一に考え

れば、増設は考えられないと思っている。

九州電力からは、迂回道路建設工事及び土砂搬出のため、運搬道路を整備するとの説明を受けた。

質問 2 ト等での受動喫煙対策は

るような場合、受動喫煙対策が課題と感じるがどうか。特に、子どもの近くでは、絶対にたばこを吸わないよう、かねてからの学習や実行委員会などでの申し合わせ、会場での呼び掛けなどが必要だ。

市長 イベント等での受動喫煙対策は、主催者の措置によるところが大きい。必要措置を講ずるよう啓発が必要だ。



現在の川内原子力発電所の様子



大園 貴文 議員

質問 1 廃校になった跡地活用策は

【答弁】 人口減少問題克服に向けた取り組みをしたい

大園 過疎化、少子化により、街の中心部から離れた地域においては、統廃合により更に疲弊する重大な局面を迎えていると考える。放置されたままの跡地の

活用策について、国や県が進める「未来へつなごうみんなの廃校プロジェクト」がある。

市長 現在、利用可能な学校施設は11施設で、基本的には地区公民館機能を考えている。

施設は、耐震等利用可能な施設であり、他自治体において民間事業者から公募するなど、活用策を検討した事例もある事から今後、

質問 2 伊作峠トンネル建設は

【答弁】 トンネル建設の期成会立ち上げが先決

大園 鹿児島市と広域連携協定を結んだ本市は、南の玄関口として、安全で安心して利用できる道路整備を進めることで、地域の活性化や利便性の向上が図られる。

霧島連山の噴火や原発事故、津波等の有事災害に備えた避難道路としての機能を併せ持つ整備は、薩摩半

島を繋ぐ重要な路線となる。また、国道270号線と県道25号線をつなぐバイパス的な重要な役割を担うと考える。

市長 鹿児島市と一体となり、共生協働できる社会基盤づくりを目指し、県との協議を進めるべきと考えるが。

必要性や目的の整理、メリットや費用対効果の精査を行い、鹿児島市等との連携を図り、国や県との協議を進めて行くためにも地元の関係団体を含めた組織を

結成し積極的に取り組む。



伊作峠の曲がりくねった路線

今後も、受動喫煙による健康被害を普及啓発していく。その他の質問

- ・ 店舗リニューアル助成制度について
- ・ 本市農業の目指すべき姿と方向性について



黒田 澄子 議員

質問 1
ロタウイルス
ワクチンへ助
成を

【答弁】 ロタ・おたふく・
インフルの半額助成を検討

黒田 ほとんどの子どもが5歳くらいまでにかかるロタウイルスによる胃腸炎は、感染力が強く、下痢や

嘔吐を伴い高熱も出る。日本小児科学会の要望書にある医療費積算数値に基づく、医療費と保護者の休業を含めた経済的損失額が、本市で2千万円を超える状況である。

任意接種の予防ワクチンもあるが、3万円ほどする高価なものである。子どもの命を守り、若い子育て世代の負担を支え、アレルギー等でワクチン接種ができない子どもを守る公衆衛生の観点と、医療費削減を鑑み、ワクチンへの助成を考えないか。

市長 予防ワクチンは、公費で負担する定期接種が、11種類、個人負担での任意

質問 2
飼い主のいな
い猫等の対策

【答弁】 犬猫の避妊去勢
手術への助成は考えない

黒田 ①国は、ガイドラインで、猫は室内で飼うと定めているが、犬・猫の飼い方への苦情はないか。
②動物愛護法に基づき、

接種が、ロタウイルスワクチンなど、5種類ある。乳幼児の健康保持の観点で、ロタウイルス・おたふく風邪・インフルエンザを来年度から半額助成する方向で検討に入っている。

猫の飼養や地域猫として、少しずつ避妊・去勢を行いながら頭数を減らしていく愛護活動に、市はどのような支援をしているのか。また、動物の遺棄や虐待は犯罪であり、終生飼養すること、何匹なら飼いつづけられるのかなど、子どもや市民への啓発はどうか。
③避妊・去勢の助成を行わないか。



元気に育て、日置の子どもたち

り、子どもや市民への啓発も保健所の指導を受け検討。
③避妊・去勢への助成は考えていない。
その他の質問
・市の防災減災
・歩きたくなる町づくり
・点字ブロック設置計画



西園 典子 議員

質問 1
日置市版スマー
トウエルネスシ
ティ構築を

【答弁】 「見える化」や
連携で健康寿命延伸を

西園 本市は、県下に先駆けて条例を制定して、市民ぐるみの健康増進に取り組

んでいるが、効果と課題は。また、市長は、全国SWC首長研究会に属している。見附市では、健康づくりをもとに、まちづくりや公共交通・教育など、総合行政で取り組む「健幸」づくりで、持続可能な自治体を目指そうとしている。本市も独自の資源や地場

きかけと、健康寿命の延伸である。
※SWC首長研究会には、健幸をいしずえに、高齢・人口減少で起こるさまざまな社会問題を克服するため加入した。
市民や事業所を巻き込み先進的な情報を得ながら、総合的に頑張っていく。

特に、子どもは、持つ能力を発揮できるよう育てられる必要があると思う。学校という子育ての現場で「男は前、女は後」という名簿が、依然として残っている。
数年間、そのような状態に置かれ続けることは、自然に男女差別を身に着けさ

名簿を作っている。各学校や児童生徒の実態に応じて、学校長が判断すべきものと考え。
※SWC（スマートウエルネスシティ）首長研究会：「健幸」をまちづくりの基本政策とし、自治体の連携により推進を図るうち、平成21年11月に発足。現在、約70自治体の首長が参加しており、日置市も平成26年3月に加入している。



佐多 申至 議員

質問 1
本市の安全で
安心な快適な
まちづくりは

【答弁】 情報手段に自治
体安心メールを導入予定

佐多 ①長松川にかかると猪鹿倉橋近くの造成団地周辺での、道路冠水原因と検証は。
②想定外の局地的豪雨の

市長 特定健診などの高い受診率や「元気まつり」「りんご教室」などの健康づくりが、身近な所で活発に継続している。
課題は、無関心層への働

【答弁】 実態に応じて
学校長が判断する

せる恐れがある。
性別で優劣をつけたり、差別につながる要因は減らすべきではないか。
学校での男女混合名簿の導入を図るべきではないか。

教育長 学校では、出席簿や健康観察などの公簿、入学者や卒業生名簿など、各種



住民が健康・元気・幸せに暮らせる町づくり推進を

対応について、各地域の雨量を情報収集できる雨量計は、どこに何箇所あるか。
③緊急を要する情報を市民へすばやく伝達する方法は、どのような体制で行われているのか。
④長松川・神之川の河川整備について、本市は県との程度、また、どのような内容で協議し、要望しているのか。
⑤本市の都市計画マスタープランの策定は、いつになるのか。

市長 ①宅地造成により水田が埋め立てられたため、道路が冠水。
本年度に橋を含め、道路改良の詳細設計をし、31年度以降、工事着手を計画。
②東市来3、伊集院4、日吉1、吹上3の計11カ所あり、県河川砂防情報システムでも公表。
③気象庁の大雨・洪水危険度分布情報を含め、民間業者システムの自治体安心メールを導入予定。
高齢者・障がい者へは、配信機器での周知は勿論、自治会長・消防署・消防団と連携して呼びかける。
④神之川河口部と中流域

の大田地区を整備中、並行して伊集院市街地の用地取得も進めている。
県へは、引き続き早期完了に向けた予算確保の要望を行う。
⑤策定は、平成31年3月を予定しており、併せて、平成30年度から3カ年で、用途地域の見直しも計画している。

⑥土地利用対策要綱に法的拘束力はないが、開発業者には、特に排水路計画に重点をおき、指導・協議を行っていく。



造成団地の道路の冠水写真



留盛 浩一郎 議員

質問1 空き家等対策

【答弁】他の自治体の事例を参考に検討する

留盛 空き家数は、年々増えている状況であり、空き家等対策特別措置法が、平成27年5月に完全施行され、3年が過ぎた。

- ① 空き家改修事業制度について、対象を企業の社宅用として拡大したが、その経緯はどういうものか。
② 空き家等対策計画の、スケジュールについて、なぜ早急に計画策定されなかったのか。
③ 空き家等解体補助事業について、県内の市町村で解体補助事業をされている市町村を把握されているか。
④ 解体後の固定資産税減免について、取り組む考えはないか。

- ② これまで空き家の活用を優先した。
これから、本年度中に空き家等対策計画の素案を取りまとめ、来年度の早い時期に有識者や市民での構成員で協議会を設立し、委員からの意見をとりまとめ作成していく。
③ 県内43市町村のうち、26市町村で実施している。
本市でも限度を決めながら、実施していく考えである。
④ 本市の中で実施すれば、税法上不平等であると考えているので、他の市町村とも十分研究していく。

質問2 ひおきベビカムサポート事業上限は

- 【答弁】現在のところ想定していない
留盛 本市においては、所得制限や年齢制限がなく、手厚い特定不妊治療事業である。
① この特定不妊治療への制限回数撤廃できないか。
② 産婦人科医の協力を得て、不妊治療に、はり・きゅう治療を取り入れてはどうか。
市長 ① 特定不妊治療は通算5回までだが、さらに次の妊娠を希望する場合は、また通算5回の治療ができるので、上限を撤廃するのは想定していない。
② 県や他市の状況や、産婦人科の先生とも話をして十分検討していきたい。



市内の空き屋等対策計画の策定を

その他の質問
PCB廃棄物処理は
※ベビカムサポート事業：医療保険が適用されず、高額の治療費がかかる特定不妊治療と一般不妊治療を受けた夫婦に對して、不妊治療助成金を給付する「不妊治療費助成事業」。



重留 健朗 議員

質問1 消防署・消防団の現状は

【答弁】消防署・消防団の在り方を検討する

重留 全国的に、多くの自然災害が頻繁に発生している中、

- 消防署・消防団の組織構成や退職者によるサポートも必要と考える。
自主防災組織などの育成により、自助・共助による市民の防災意識の向上、地域防災力の強化を推進する必要があり、有事の際に即応できる訓練場所の確保も必要である。
特に、障がいのある要支援者

- 市長 ① O B 職員の団員については、消防団幹部会等で、地域の自主防災組織の中で活動した方が良いとの意見があり、そのような方向で支援をしたいと考えている。
② 本署から一番遠い所は、上神殿の8 kmで約11分、南分遣所からは、日添の17・4 kmで約24分、北分遣所からは、尾木場の14・6 kmで約20分。
③ 東市来方面団は、東市来総合運動公園駐車場・江口漁港・上市来分団車庫前。
伊集院方面団は、伊集院総合運動公園野球場・小鶴ドーム・城山公園・文化会館・総合体育館北側の各駐車場と、飯牟礼小学校校庭・土橋分団車庫前・妙円寺ゴルフ場跡地。

- 【答弁】新しい物資・備蓄置き場の確保
重留 応急対策に係る生活物資等の備蓄状況はどうか。
市長 災害発生時の応急対策に係る生活物資として、日置市応急対応対策備蓄計画に基づき、飲料水・食料品・寝具、

- 紙おむつやタオルなどの日用品・簡易トイレ・投光器・発電機など、計画的に準備している。
その他の質問
・女性団員の入団、また、女性消防士の採用は。
・災害時の一斉連絡方法及び事業所への対応は。



消防団操法大会の様子



是枝 みゆき 議員

質問1 宅地造成による都市型水害の対策は

【答弁】重要な協議案件なので環境を整えていく

是枝 ① 急速に宅地化が進んだ地域での水害の原因と、その対策をどう考えるか。

- ② 近年、造成の進んでいる伊集院町猪鹿倉の冠水対策を今後、どう考えるか。
築52年を迎える猪鹿倉橋と接続する市道など、早急な改修が必要だが、どのように計画されているのか。
③ 河川の流下能力を高めるために、寄り洲等の河川整備をすべきと考えるが。

- 市長 ① 頻発する豪雨に加え、急激な土地利用の変化で、水路の排水能力が不足したことが原因と考える。土地利用対策要綱に基づき協議し、規模にもよるが、3000 m以上になると県の開発許可になる。
排水対策は重要な協議案件であり、市民の皆さんが

- 安心して生活できるように環境を整え、開発要綱も充分検討していきたい。
② 猪鹿倉橋と排水路を含む前後の市道は、本年度詳細設計を実施し、着工は31年度以降になるが、予算化等含め、早めに努力したい。橋の幅員は、7 mに拡張する予定である。
③ 神之川の河川改修と併せ、長松川の寄り洲除去も県へ要請していきたい。

- 【答弁】伸び伸びとする姿を文章で評価
質問2 特別の教科、道徳の評価化の在り方は
教育長 ① 教科書は、日本文教出版を使用、選定にあたっては、学習指導要領の趣旨を踏まえた目標の設定や、学び方、考え方を習得するための工夫などの観点をもとに、総合的に判断した。
どう考え、どう成長したかを把握し、子どもたちの変容の姿を伝え、さらに子どもたちを伸ばしていく



改修が急がれる猪鹿倉橋



山口 政夫 議員

質問 1 地区公民館の在り方をどうするか

【答弁】 内部の組織で協議検討していく

山口 ①地区公民館と地域自治会との連携をどのように行い、課題への対策をどう考えるか。

②26地区公民館の中には、公民館職員間において、さまざま問題があると認識する。
市長の問題解決への取り組み、職員体制の在り方をどのように考えるか。
③地区振興計画のハード事業を外し、以前のように地域の要望を行政が調査し、計画を進めるべきと思うかどうか。
④地区公民館職員の防災訓練等への参加は必要ないとしているが、地区の安心安全の観点から地区防災体制を整備すべきと思うが、どうか。
本市の地区防災の指針を示し、取り組むべきと思うかどうか。

市長 ①自治会と共に共生協働の取り組みで成り立っていることから、地区公民館を中心に、自治会・団体・地区民が連携した取り組みが推進できる組織作りが重要と考える。
②諸問題は聞いている。職員が出向き、指導助言を行い、市長との意見交換会の中でも対話もしているが、今後、運営の在り方等も内部の組織で、協議検討していく。
③この10年間で、道路整備・防犯灯・安全施設等は整備されたが、今後、ハード事業も内部組織で議論していく。
④まず、自主防災組織の組織率の向上が大切と考える。

その上で、災害規模や被害状況により、各自防災組織と公民館が、それぞれ役割分担や連携していく必要があると考える。
今後、地区防災の指針を示し、進めていく。

質問 2 ふるさと納税返礼品に見守りサービスを

【答弁】 日本郵便との提携に向け協議

山口 福祉部門のふるさと納税返礼品として、日本郵便の「みまもりサービス」を検討しないか。



離れて暮らすご家族をつなぐ安心

市長 11月までに、返礼品の見直しを行う考えである。住民福祉に寄与すると思われるので、日本郵便との提携に向け、協議を進めていく。



田畑 純二 議員

質問 1 人口減少・少子高齢化・過疎対策は

【答弁】 人口減少問題克服に向けた取り組みをしたい

田畑 ①第2次日置市総合計画のこれまでの取り組み検証

と、今後の実施策は。
②日置市まち・ひと・しごと創生総合戦略の今までの評価と、今後の実施策は。
③過疎対策事業債の今までの使われ方と、今後の方針と見直しは。
④ふるさと納税のこれまでの実績・活用方法は、地域の活性化へどうか。

既存事業の見直し・改善を図る。
③地域格差の是正等が図られており、引き続き、過疎地域の住民の生活安定に努めていく。
④平成29年度末で、約7万5千件、約9億3千万円。活用方法は、約32%を保険・医療・福祉分野へ、約21%を観光・産業経済分野に活用しており、新商品開発、ネットによる販路拡大、雇用の増加に繋がっている。
⑤多額の費用が必要となるので、公共施設の長寿命化や、効率的な施設管理等を行っている。

【答弁】 協働について理解を深めるよう取り組む
田畑 ①官民団体、組織のより一層の活性化と育成への取り組み方は。
②26地区公民館の第4期地区振興計画の成果と課題解決の取り組み方は。
③日置市共生協働まちづく

り課題解決のための事業に取り組んでいただきたい。
③十分と言えないので、研究会やワークショップに取り組みたい。
④多くの方が、地域の担い手となる事を期待したい。
その他の質問
・伝統芸能、生涯スポーツ支援



日吉地域の伝統行事「せつぺとべ」のようす



桃北 勇一 議員

質問 1 適正な教員を配置するべきではないか

【答弁】 少子化の現状では再編が必要になる

桃北 現在、小規模中学校では、部活動を選べない現状や、少ない先生方で専門外の授業をやりくりしてい

る。
学校の規模に起因するデメリットについては、先生や保護者ではどうすることもできない。
中学校においては、主要5教科に複数の教員を配置し、かつ、全教科に専門の教員を配置するべきではないか。

市長 全教科に教員を配置するには、一定規模の学級数が必要となり、少子化の現状では学校再編が必要となる。
再編するかしないかは、住民の合意形成が必要。

【答弁】 誘致が難しいとの認識はある
桃北 吹上浜公園体育館に放射式冷暖房設備が入り、数年後にサッカー場も完成する。
人口減に伴い利用者や税収は減るが、固定費や維持費は変わらない。
広域での取り組みや、学校等へ早期の誘致を活発にすべきではないか。

誘致が大変難しいと認識はしている。
利用促進協議会の充実は不可欠で、予算措置を含めて考えて行く。
その他の質問
・障がい者の職場・住宅問題、市営住宅保証人問題や施設事業者への協力体制等の充実を図らないか。
・特別支援学校のスクールバス停に雨よけを。
・点字誘導用ブロックの整備・管理の徹底を。
・学校建て替えは、長期を見据えて計画を。
・上水道配管更新は隠れた借金ではないか。
・市道脇の植木は市の管理から外し、自治会へ委託してはどうか。



冷暖房パネル設置で利用者増を期待したい体育館

まちのきまり 条例を一部改正しました

議案番号	提案条例
議案42号	日置市税条例等の一部改正
議案43号	日置市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部改正
議案44号	日置市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案45号	日置市子ども医療費助成条例の一部改正
議案46号	日置市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
議案47号	日置市包括的事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部改正
議案48号	日置市都市公園運動施設条例の一部改正

全会一致で可決

議員発議

議員定数を22人から20人へ

提出者 富迫克彦
賛成者 桃北勇一・是枝みゆき・佐多申至

合併後14年を迎えた現在の人口は、当初と比較すると4056人、年間になると312人減少してきている。次期改選期に当たる33年度からは普通交付税が一本算定となり減少し、財政的にも一層厳しくなることが分かっている。このような、本市を取り巻く環境の変化を考慮すると、現状の定数のままでは市民の理解を得ることは難しいと考える。また、議会が自ら改革していく姿勢を示す必要を痛感し、議員定数条例議員定数22人を20人に改める。



議員定数特別委員会へ付託

坂口 今、保育士不足が指摘される中で、運営上の課

「答弁」定員に対する保育士確保はできている

質問1 保育士不足による運営上の課題はないか



坂口 洋之 議員

人間関係④保育ニーズの多様化等である。保育入所の低年齢化の背景と、本市の年齢ごとの利用状況はどうか。保育単価や処遇改善等、今後も、国に財政支援を求めるべきではないか。

題はないか。国が、保育士の処遇改善を実施しているが、処遇改善加算金等は、本市の保育士等の処遇改善につながっているのか。保育士不足の背景は、①賃金②いのちをあずかる仕事でありながら責任に對しての処遇③職場や保護者の

活躍社会、保育ニーズの多様化である。利用者状況は、0歳児51人、1歳児177人、2歳児253人、3歳児220人、4歳児228人、5歳児215人であり、各関係機関と連携し、今後も支援を求める。

市長 今後、保育需要の増加や新制度による職員配置に伴い不足する場合も想定されるので、園長会と連携し確保に取り組む。処遇改善制度で各園、ベ이스アップ等の処遇改善に取り組み、人材確保や意欲の向上に取り組む。低年齢化の背景は、女性

布対象者状況と課題は。事前申し込みを忘れていた市民への対応は。希望者全員の、事前配布をすべきではないか。原発の再稼働の同意について、30キロ圏内の自治体へ同意を広げるべきではないか。

質問2 安定ヨウ素剤の希望者への事前配布を「答弁」県と引き続き協議する 坂口 安定ヨウ素剤の事前配布申請者は、101世帯ということだが、事前配



子育ての充実には保育士が働きやすい環境を

市長 本市の配布対象者は、障がいのある方や高齢者、乳幼児など約8500人で、希望者全員の配布は把握が難しく課題もある。申請漏れは、引き続き県と協議する。再稼働の同意は、設置自治体と県が責任をもつべきと考える。



中村 尉司 議員

質問1 NHK大河ドラマ「西郷どん」の効果は

「答弁」ゆかりの地などを訪れる観光客は微増

中村 明治維新150周年を記念し、「西郷どん」も放送が始まり半年近くがたつが、本市への効果はどう

か。第1回目に妙円寺詣りが放送され、今年から多くの来客が見込まれると思うが、今後、どのような対応を考えているか。

市長 妙円寺詣りの対応については、県補助事業を活用して、妙円寺詣りフェスタウォークラリーを更に拡充するよう実行委員会に提案し、誘客促進を図る。教育委員会としては、妙円寺詣り行事大会として、武道大会等の開催に携わっており、今まで以上のおもてなしの気持ちで歓迎したい。

「答弁」三州同盟会議の構成市町で現在計画を検討中

質問2 島津義弘公没後400年記念事業の計画は

中村 来年は、義弘公没後400年の記念すべき年を迎えるが、日置市として具体的な計画はできているか。また、関係する市町でつくられている三州同盟会議において、記念事業を行う計画は進んでいるか。義弘公や妙円寺詣りを顕彰する施設を、本庁舎の耐震補強工事や増改築工事に合わせて、維持管理費を抑えるために、本庁舎内に作

れないか。今年度、阿久根市が、明治政府の外務卿などを務めた寺島宗則の旧家整備を、ふるさと納税や企業版ふるさと納税を使用し、整備することになったが、本市でも顕彰室建設の財源として、つくるつもりはないか。

市長 本市としては、三州同盟会議の記念事業を中心に、取り組んでいきたいと考えている。義弘公、妙円寺詣りを顕彰する観光施設の建設については、考えていない。

その他の質問 ・郷土愛の持てる教育について(郷中教育)



伊集院駅前の島津義弘公像

先進地に学ぶ行政視察

平成30年5月16日～18日

調査箇所 新潟県見附市

●調査事項 スマートウェルネスみつけ(見附)の取り組み

- 1 スマートウェルネスみつけの事業内容
- 2 健康づくり推進計画の概要
- 3 健康基本条例・歩こう条例の内容
- 4 健康に関心のない層の取り組み状況

【まとめ】

市の公用車を各地区公民館へ一台ずつ貸与されており、本市の取り組みも期待したい。イングリッシュガーデンは地域の憩いの場で、花々が咲き誇り、散策できるように作られた所である。

また、歩道や公園の所々に座りたくなるベンチが設置され、高齢者や障がい者も歩きたくなるまちづくりが整備されており、やさしい気遣いを感じた。

高齢者実態調査の結果により、歩くことを重要な視点と



イングリッシュガーデン 憩いの場

して、切れ目のない支援ができて上がっている。

調査箇所 新潟県小千谷市

●調査事項 市立総合支援学校の取り組み

- 1 総合支援学校の概要
- 2 総合支援学校設立の経緯
- 3 学校の跡地活用での設立の経緯
- 4 地域との連携



移動をスムーズにするスロープ



総合支援学校の調査

【まとめ】

学校跡地利用としては、成功事例であると考えている。しかし、本市の跡地活用としては、支援学校は難しいと思う。

日置市は、特別支援学級が児童・生徒でいっぱいであることから、一カ所に集めた支援学級の機能を調査・研究すべきではないかと思う。

市民の声を 一所管事務調査

●現地調査

- 1 河川愛護作業時の河川への進入口整備 (大田)
 - 2 市道第2大田処理場線の拡幅 (大田)
 - 3 草払い清掃作業等の充実 (徳重)
 - 4 通学路の安全整備 (飯牟礼)
 - 5 松くい虫の防除作業による松林の保全 (日新)
 - 6 生活道路・通学路の整備 (日新)
- 「市民と議会の語る会」において、意見・要望があった箇所を調査し、改善に向けた取り組み対応を市長へ申し入れた。



道路維持作業班の体制強化が求められる

請願・陳情のゆくえ

請願第1号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持および教育予算拡充をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書の採択の要請について

【請願者】 (日吉町日置) 山下博司氏 (紹介議員) 坂口洋之

【内容】

- 1 教職員の多忙化解消を図るため、教職員定数改善を推進すること
- 2 義務教育国庫負担制度を堅持すること
- 3 教育の自治体間格差を生じさせないために、教育支援や複式学級など、国の教育予算を拡充すること

討論

反対 少子化による児童生徒数の減少の割には、教職員定数は減っていない。

複雑化する学校現場の問題に、家庭の教育力の低下を論ずる必要がある。義務教育国庫負担金制度については、明確に決められている。

自治体間格差は、交付税の使い道の違いであり、国への予算要求以前に、自前で努力する気概こそが求められるので、反対。

賛成 教員の職務の多忙化も指摘されており、指導に専念できる環境が検討されるべきである。

いじめ、不登校、貧困特別支援が必要な子どもが増加傾向にあることから、行き届いた教育が保証されるべきである。

自治体間格差を生じさせないための教育支援や複式学級への予算を拡充すべきと考え、賛成。

賛成 17 反対 4
賛成多数で採択
国へ意見書提出

陳情第4号

生産性特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定及び固定資産税の特別措置について

【陳情者】 鹿児島県商工会連合会会長 森 義久氏
日置市商工会会長 西 陽三氏

【内容】

中小規模事業者の生産性向上と商工業の発展・経済活性化を図るため

- 1 「導入促進基本計画」を策定するように執行部に働きかける
- 2 上記に基づき、認定を受けた設備投資について固定資産税の特例率をゼロにする

全会一致で採択

学校現場における教職員の業務改善及び教育予算拡充に係る意見書

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で子どもたちにゆたかな学びを実現するために、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。

特に小学校においては、18年度から新学習指導要領の移行時期に入り、外国語教育実施のため授業時数の調整など対応に苦慮する状況となっています。

ゆたかな学びの実現のためには、教職員定数改善などの施策が最重要課題です。また、明日の日本を担う子どもたちを育てる学校現場において、複雑化する児童生徒の対応や教職員が人間らしい働き方ができるための長時間労働は正が必要であり、そのための教職員定数改善は欠かせません。

国の施策として定数改善に向けた財源の保証をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることなど、ゆたかな子どもの学びを保証するための教育予算、義務教育国庫負担制度を併せ持つ制度を確立すべきと考えます。

よって、国においては、計画的な教職員定数の改善を推進するとともに、学校や教職員が担うべき業務の在り方及び役割分担、教員がより専念できる学校の組織運営体制や勤務の在り方など、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策を推進するため、下記の措置を講じられるよう強く要請します。

記

- 1 複雑化する児童生徒の対応や教職員の多忙化解消を図るため、教職員定数改善を推進すること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- 3 学校施設、教材、図書、安全対策など教育の自治体間格差を生じさせないために、教育支援や複式学級への予算など、国の教育予算を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出いたします。

平成30年7月2日

鹿児島県日置市議会議長 並松安文

衆議院議長 大島理森 様
参議院議長 伊達忠一 様
内閣総理大臣 安倍晋三 様
財務大臣 麻生太郎 様
総務大臣 野田聖子 様
文部科学大臣 林 芳正 様

一般質問の追跡調査
一般質問は、どげんだった？

市営住宅の共益費（浄化槽費、街灯費、電気代等）は空室があると、住民の負担が重くなるため市が助成をすべきではないか。
 平成29年6月

伊集院文化会館・東市来文化交流センターのロビーだけを借りられるようにできないか。
 平成29年6月

平成30年4月より住民負担の公平性を図る為に、市が助成するよう要綱の制定を行った。

平成30年4月よりロビーを展示室とホワイエに分けて、ホールを借りていない場合でも借りられるように条例改正を行った。

公平委員会委員



東 幸也氏
 (伊集院町徳重)

監査委員



櫻井 健一氏
 (吹上町中原)

固定資産評価員



松元 基浩氏
 (伊集院町土橋)

教育委員会委員



胸元 直美氏
 (吹上町永吉)

◆人事案件

第53号の表紙

暑い夏を迎え、つつじが丘保育園でもプール開きを行いました。
 子どもたちの明るい歓声と水しぶきが舞い上がり、とても楽しそう！
 これからも、笑顔の絶えない子どもを育んでいきたいと思えます。



平成30年第3回(9月) 定例会会期日程(案)

- ◆9月3日(月) ……………開会
 - ◆9月4日(火)～6日(木) …………… 各常任委員会
 - ◆9月7日(金)～11日(火) …………… 決算委員会
 ※今回、決算審査は各常任委員会での審査予定です。
 - ◆9月18日(火)～20日(木) …………… 一般質問
 - ◆10月3日(水) …………… 閉会
- ※都合により変更になる場合もありますのでご了承ください。

編集後記

毎日、暑い日が続いています。

先日の西日本豪雨災害の発生に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

本県でも平成5年に発生した8・6災害は、今だ記憶に鮮明に残っているところです。

その後も全国的に、多くの風水害や地震災害が毎年のように発生し、防災・減災への意識の醸成はもちろん、早めの避難の決断をと願う思いでいっぱいです。

「まだ大丈夫」から「早めの避難」へ、災害の怖さを実感する日々です。

今後、これ以上、災害が起きない事を願います。(黒田)

《発行責任》 並松 安文

《編集責任》 橋口 正人

広報編集委員会 委員 長 是枝 みゆき

副委員長 山田 澄子

委員 佐多 政夫
 〃 山田 澄子
 〃 黒田 澄子
 〃 佐多 政夫
 〃 山田 澄子
 〃 黒田 澄子